

1月1日～3日 新年祈願祭

5時10時13時15時祈願奉修します。

1月 9日 初縁日

10時 初座祈願奉修します。

1月20日頃 木曾御嶽山寒山登拝

厳寒の冬山。八海山神社までの参拝です。

2月節分 節分祭

節分祭追儺式11時 福引1時頃

年男・福女の方は鬼やらいの豆まきをして災難を除けてください。

4月10日 本庄普寛霊場春季大祭

本庄市の霊場で、木曾御嶽山開山
霊神普寛行者の遺徳を偲び御嶽山
の修行法がたくさん奉修されます。

5月27日 東郷神社平和祈願祭

東郷元帥に縁も深い海軍記念日。

東郷神社で世界の平和を祈願します。

6月27日 大祓 焼納祭

身代わりの人形で罪穢れを祓い清めます。古神札やお守りも
焚き納めます。

7月 9日 講中安全登山日待祭

講員登録していただいた方の特別祈願を行います。本年の御
嶽山夏山登拝の安全も併せて祈ります。

7月20日頃 越後八海山登拝

峻嶒で名高い八海山の登拝です。

8月下旬～

9月上旬 木曾御嶽山夏山登拝

頂上目指して唯一心に登ります。登頂の晩にはすばらしい感
動が待っています。

10月10日 本庄普寛霊場秋季大祭参拝

11月20日頃 もみじまつり

全山紅葉の時期、芸能や模擬店でお楽しみください。

12月27日 大祓 焼納祭

1年の罪穢れを祓い清めます。古神札やお守りも焚き納めます。

上記の全ての行事には、どなたでも参加できます。
詳しくは地域お世話人または、社務所(☎042-978-0072)までどうぞ！

秩父

CHICHIBU ONTAKE Jinja

御嶽神社

当神社は、信州木曾御嶽山を本山と仰ぎ、その
御分霊を奉斎した御嶽信仰の神社である。
境内貳萬五千坪にして、東郷公園を神苑として
いる。その霊験は、あらたかにして特に悪気退散、
除災招福を旨とし、人々の幸運を守護される。

当山開祖清貫一誠霊神は、人の一生も斯く在りなんとの願いからモミジの
木を人生の二本とするようにと、たくさん境内に植樹しました。
私たちの生涯は順風満帆というわけにはいかないことが多々あります。
それは、この世に生を受けて森羅万象全てのものの中の一員として暮ら
していく上では仕方ないことなのです。私たちは一人で生きている
わけではありません。互いに、常に、影響し合って生きている以上、
摩擦が生じないはずはないのです。
そんなつまらない障害を少しでも軽く、少しでも小さくと念じ
御嶽山の行者は今日も祈願を重ねます。最後に自分らしく精一杯
色づきを見せるモミジのように、錦を飾って私たちもその一生
を生きぬきたいものです。
私たちはそのために、少しで
も皆様のお役に立てればと願っ
て止みません。「相談の向きは
下記例祭日、お気軽にご来山く
ださい。」
宮司拝

毎月1・9・15・18・27の日は
ご縁日です

祈禱殿にて10時から祈願を行っております。皆様のお参りをお待ちしております。

上記以外の日のご相談事や地鎮祭、家祓い、自動車のお祓い、七五三や初宮参り等の各種お祓い等は、随時、社務所にて受け付けております。

お気軽にお問い合わせください。

東郷公園

秩父御嶽神社

〒357-0215
秩父御嶽神社
社務所

埼玉県飯能市坂石580
☎042-978-1717 ☎042-978-1717
☎042-978-0072 ☎042-978-0590
<http://www.togo.ecnet.jp>

当園は、当地に生まれ育った木曾御嶽山の行者鴨下清八氏がその生涯を賭して整備した東郷元帥に縁も深き公園です。

東郷元帥銅像建立の大正14年4月17日元帥自ら除幕式に臨席されその完成をみました。公園内には日露戦争の遺物や後の海軍省より下賜された記念品が点在し、太平洋戦争の難も逃れ現在に至っております。

神社境内地に所狭しと植えられたモミジ・カエデの樹々は、秋の紅葉時期（11月中旬）には真っ赤に染まります。

東郷公園

TOGO Park

公園



東郷元帥銅像

東郷平八郎
1847.12.22～1934.5.30
鹿児島出身の海軍軍人。戊辰戦争に参加後、英国留学。日清戦争時大佐、旅順艦長。日露戦争時、ロシアのバルチック艦隊に日本海で戦って完勝。提督としてオランゾと並び称される。



戦艦三笠被弾甲板



ロシア製大砲

乃木大将銅像



乃木希典
1849.11.11～1912.9.13
幕府出身の海軍軍人。日露戦争時、陸軍少将として203高地を攻略。真実を告げないで、明治天皇の目の前で死に、あまりにも有名な。

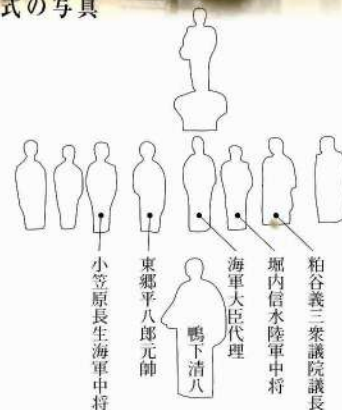


東郷公園 秩父御嶽神社

〒357-0215 埼玉県飯能市坂石580
東郷公園管理室（秩父御嶽神社社務所内）
☎042-978-0072 ☎042-978-0590
<http://www.togo.ecnet.jp>



除幕式の写真



一樵夫の熱誠 東郷元帥を動かす
前略
全く元帥は今や半は神の如き崇敬を一身に集められて居る故に、是迄東郷元帥の徳を慕ひて其の銅像を建設せんとし切に元帥の許しを願ひたるものは、實に二十有餘ヶ所の多数に上つてゐた。而かも随つて熱烈なる元帥の崇拜者も是れ許しは其の希望を実現する機会を得なかつたのである。
然るに今回埼玉縣入間郡吾野村の鴨下清八氏は公々然と元帥の許可を受け且つ其の除幕式には本物の元帥を遠く都離れした片田舎に迎へて郷村の老若男女を唯だ然とした許りでなく一世をして驚異の目を見せしめた。唯の様な事實がある。然らば斯くの如く普通の人の力では梃子でも動かさない東郷元帥を動かした鴨下氏は如何なる人であろうか大政治家か大實業家か大地主か曰く否々彼は實に一介の一樵夫である。
併し鴨下翁は普通の老人とは違つて大なる精神家であつた。
後略

〔後接〕大正十四年7月号掲載文より抜粋